

第二次連結中期経営計画の進捗状況

代表取締役社長
渡 文明

<http://www.eneos.co.jp>

2004年5月21日



新日本石油
Your Choice of Energy

中期経営計画の進捗状況

1. **基本方針および財務目標**
2. **2003年度決算**
3. **今後の見通し**
4. **個別施策の実施状況**

1. 基本方針および財務目標

(1) 基本方針

コア・ビジネス (石油事業) の収益力強化

新たなエネルギー・ビジネスへの挑戦

(2) 財務目標

連結 ROE 6.5% (2004年度)

有利子負債残高 9,000億円 (2005年3月末)

2. 2003年度決算

(1) 損益計算書要旨

	02年度(実績)	03年度(実績)	増 減
原油価格(\$ / Bbl)	26.3	27.8	+ 1.5
為替レートの(円 / \$)	122.4	113.4	9.0
原油込内 燃料油販売数量(万 KL)	5,548	5,542	6
	兆 億円	兆 億円	億円
売上高	41,874	42,798	+ 924
営業利益	966	559	407
営業外損益	58	12	+ 70
経常利益 (在庫影響除き)	908 (427)	571 (813)	337 (+ 386)
特別損益	266	2,068	1,802
当期利益	323	1,335	1,658

(2) 経常利益[在庫影響除き]の増減分析

813億円 (前期比 + 386億円)

販売数量・マージン	+ 174 億円
コスト削減・効率化	+ 227
製油所運転停止影響	101
石油開発	+ 85
その他	69

営業利益 (在庫影響除き)	+ 316 億円
営業外損益の良化	+ 70

経常利益 (在庫影響除き)	+ 386 億円
< 在庫影響 723億円 (481億円 242億円) >	

(3)特別損益の内訳

固定資産の減損損失	1,715 億円
特別早期退職加算金	121
関係会社整理損	97
販売用不動産評価損	62
資産処分損益ほか	73
合 計	2,068 億円

(4)セグメント別状況 (前期比)

売上高

(単位:億円)

合 計			
42,798 (+924)			
石 油 部 門	石 油 化 学 部 門	工 事 部 門	そ の 他
36,064 (+68)	2,479 (+280)	3,536 (+496)	719 (+80)

→ うち石油開発部門 616 (+158)

カッコ内は前期比増減を示す。

営業利益

(単位:億円)

合 計			
559 (407)			
石 油 部 門	石 油 化 学 部 門	工 事 部 門	そ の 他
337 (392)	87 (+30)	55 (25)	80 (20)

→ うち石油開発部門 236 (+85)

カッコ内は前期比増減を示す。

3. 今後の見通し

(1) 中期経営計画の目標達成に向けて

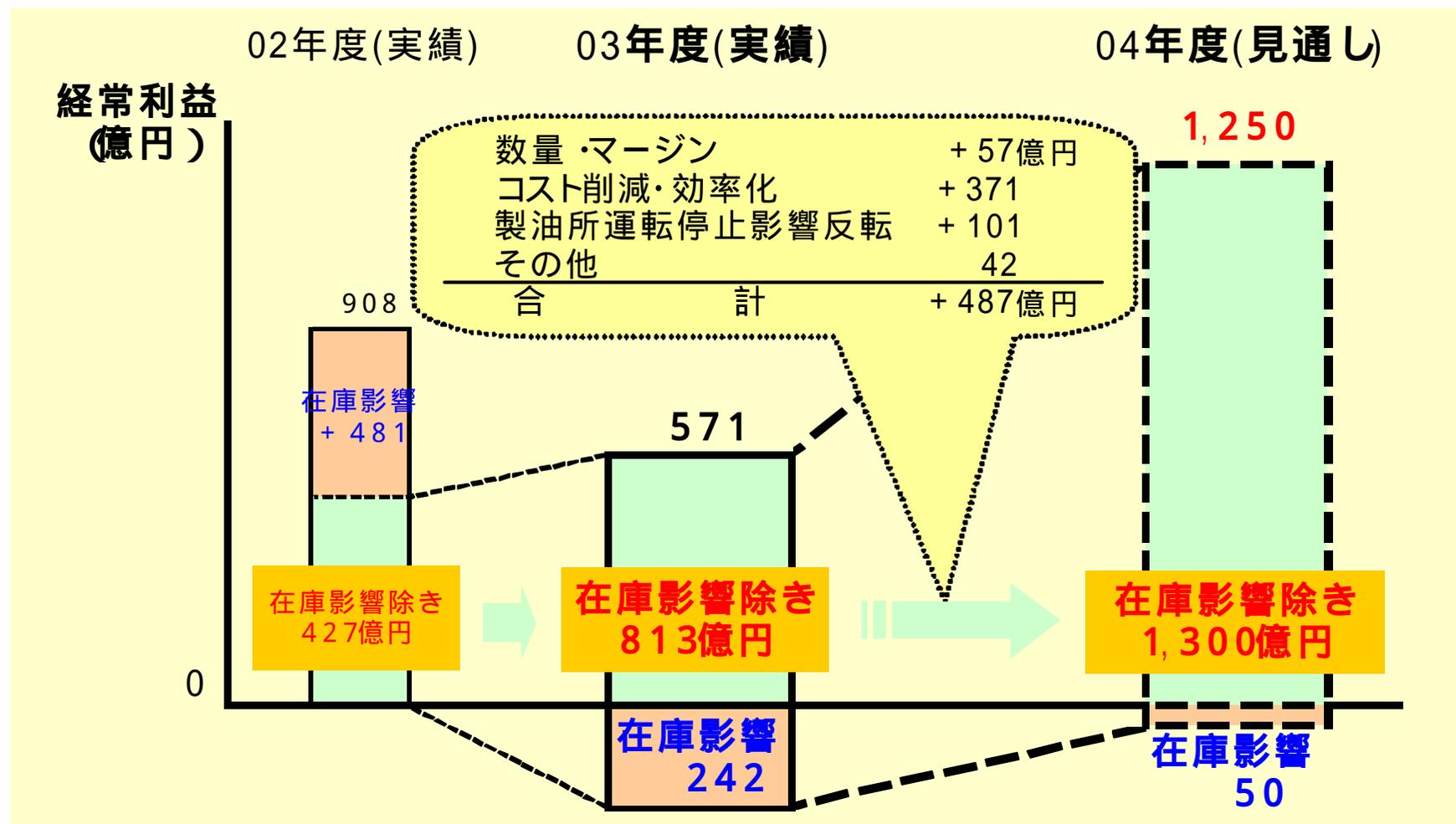
	02年度(末) <実績>	03年度(末) <実績>	04年度(末) <見通し>	計画比
(単位: 億円)				
原油価格 (\$ / Bbl)	26.3	27.8	29.7	
為替レート (円 / \$)	122.4	113.4	105	
原油込内需 燃料油販売数量 (万 KL)	5,548	5,542	5,150	
経常利益 (在庫影響除き)	908 (427)	571 (813)	1,250 (1,300)	< 50> < ±0>
当期利益	323	1,335	760	< +110>
連結 ROE	3.5%	-	8.9%	< +2.4%>
(単位: 億円)				
コスト削減・効率化	422	227	371	< +20>
有利子負債残高	10,640	9,460	8,800	< 150>
設備投資 (出来高ベース)	1,485	1,369	1,326	< +210>

減損損失
1,715億円

1,335

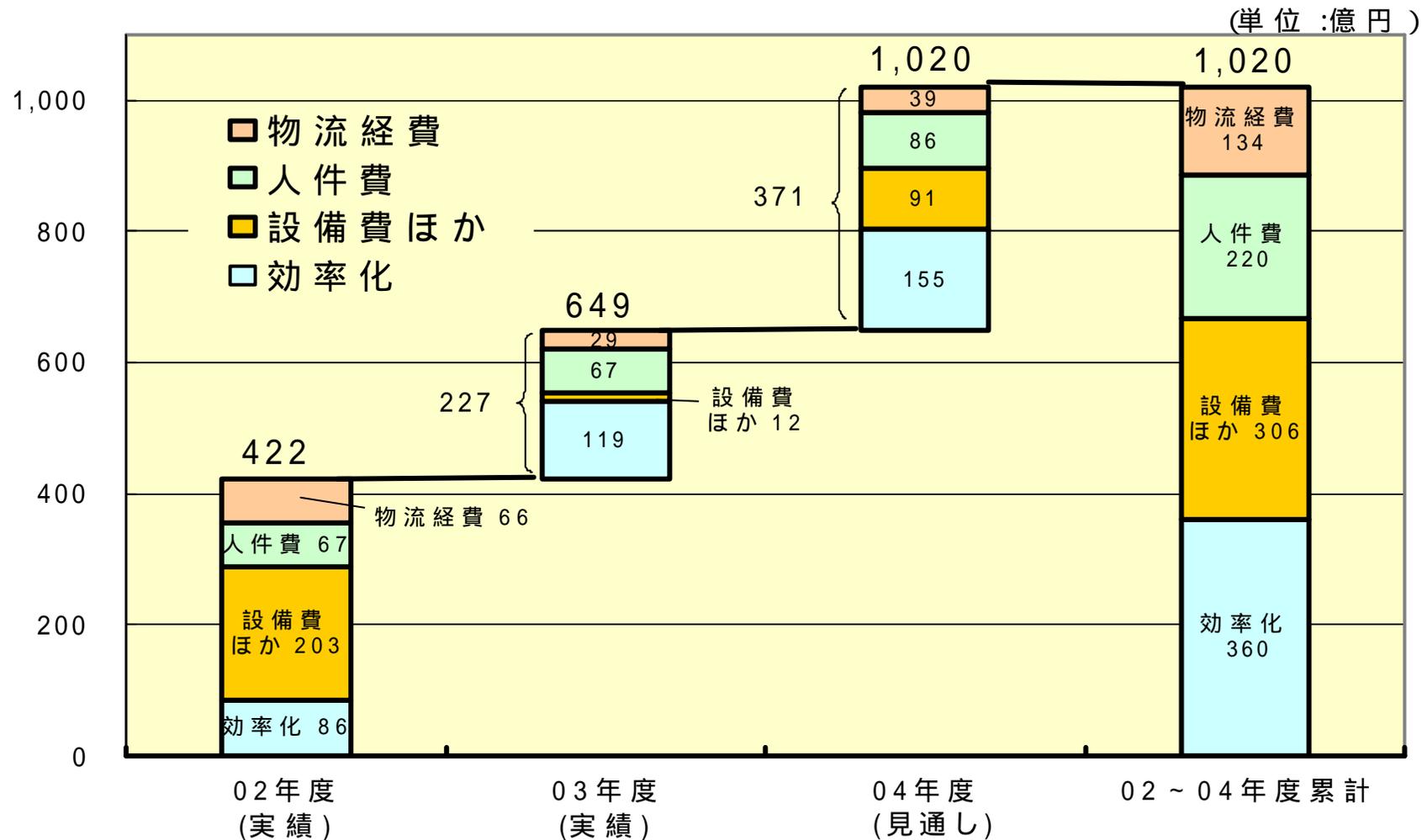
(単位: 億円)		計画比
02~04年度計		
	(1,020)	< +20>
	(2,090)	< 150>
	(4,180)	< +210>

(2) 経常利益見通し



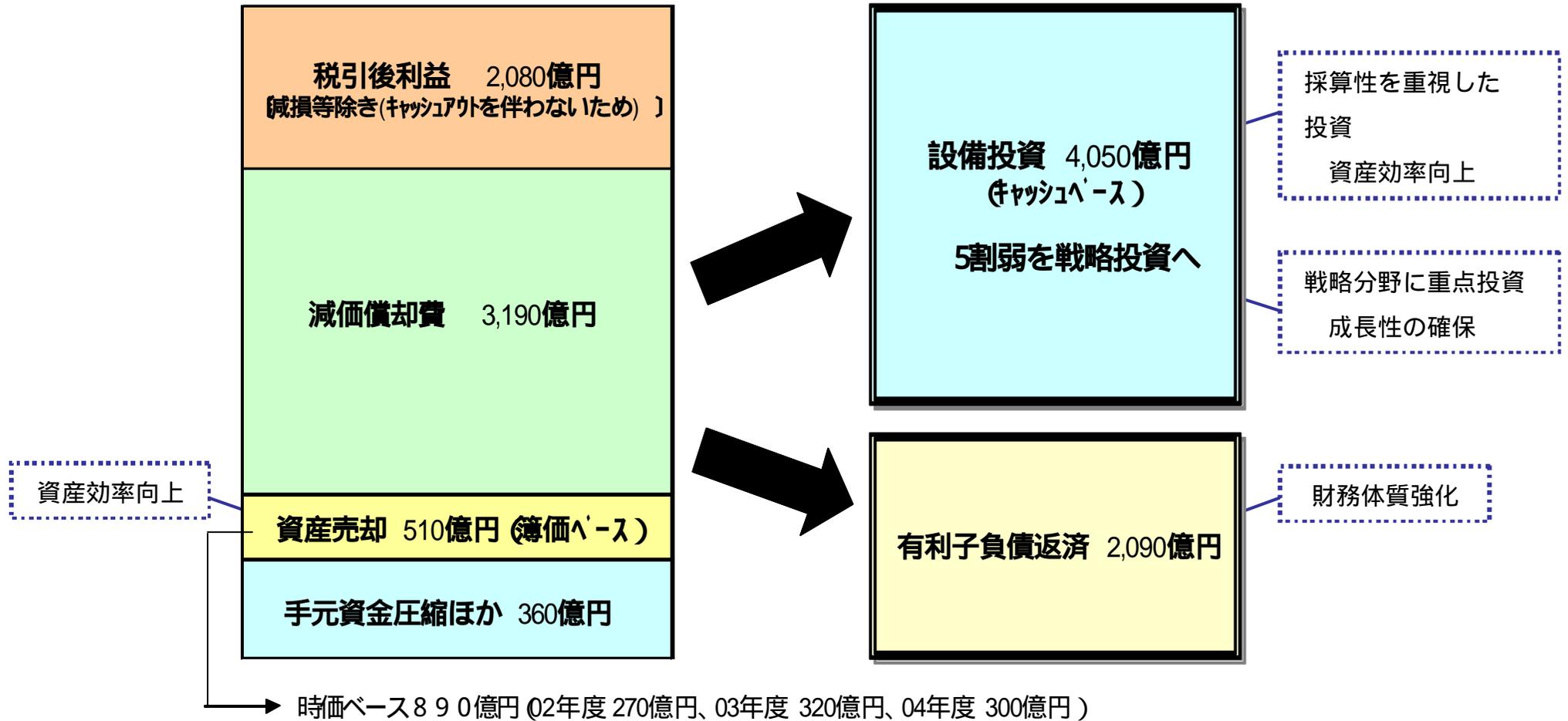
(3)コスト削減 効率化

見通し 1,020億円 / 3年 目標 (1,000億円 / 3年) を上回るレベル



(4) キャッシュフローの創出と配分

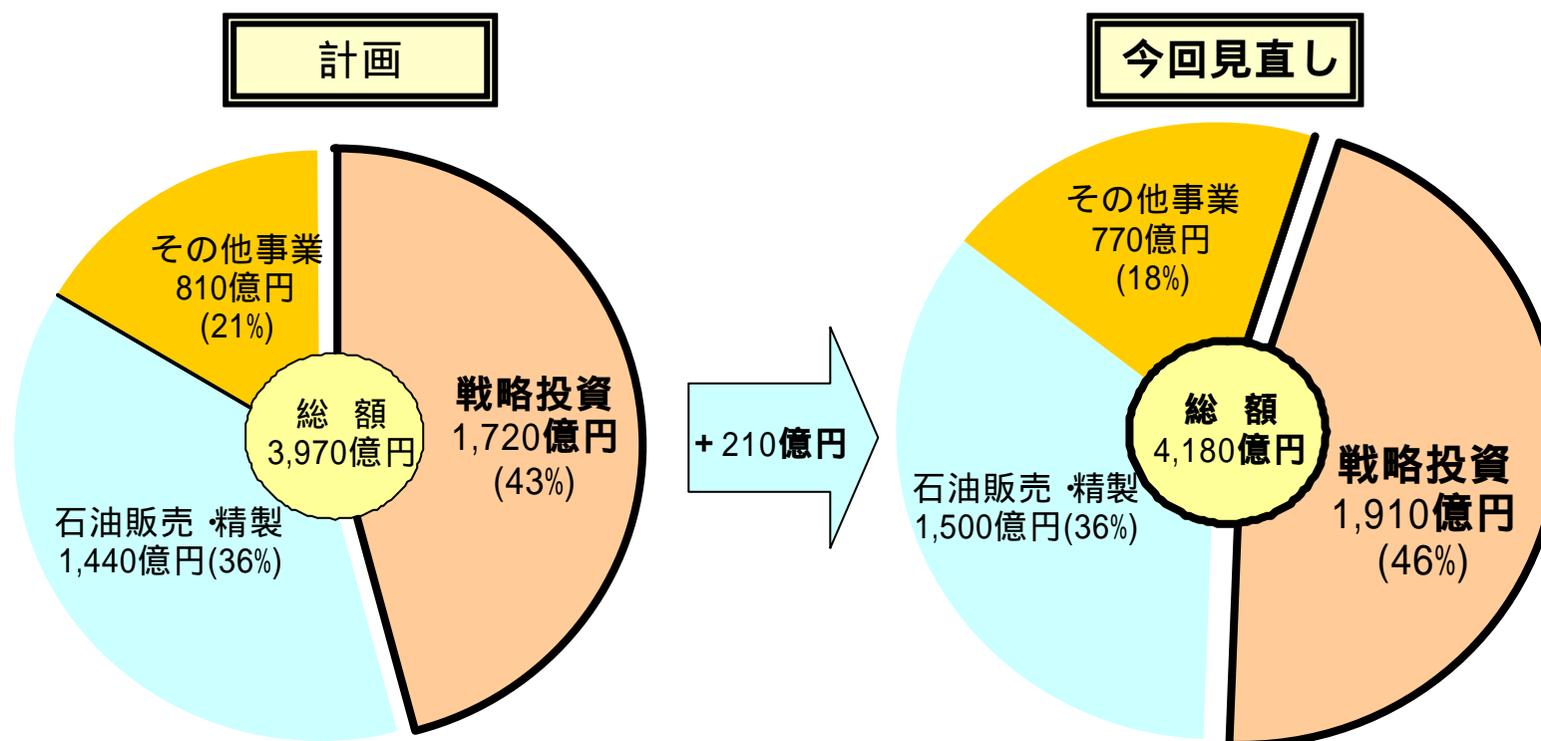
<キャッシュインフロー - 6,140億円 / 3カ年>



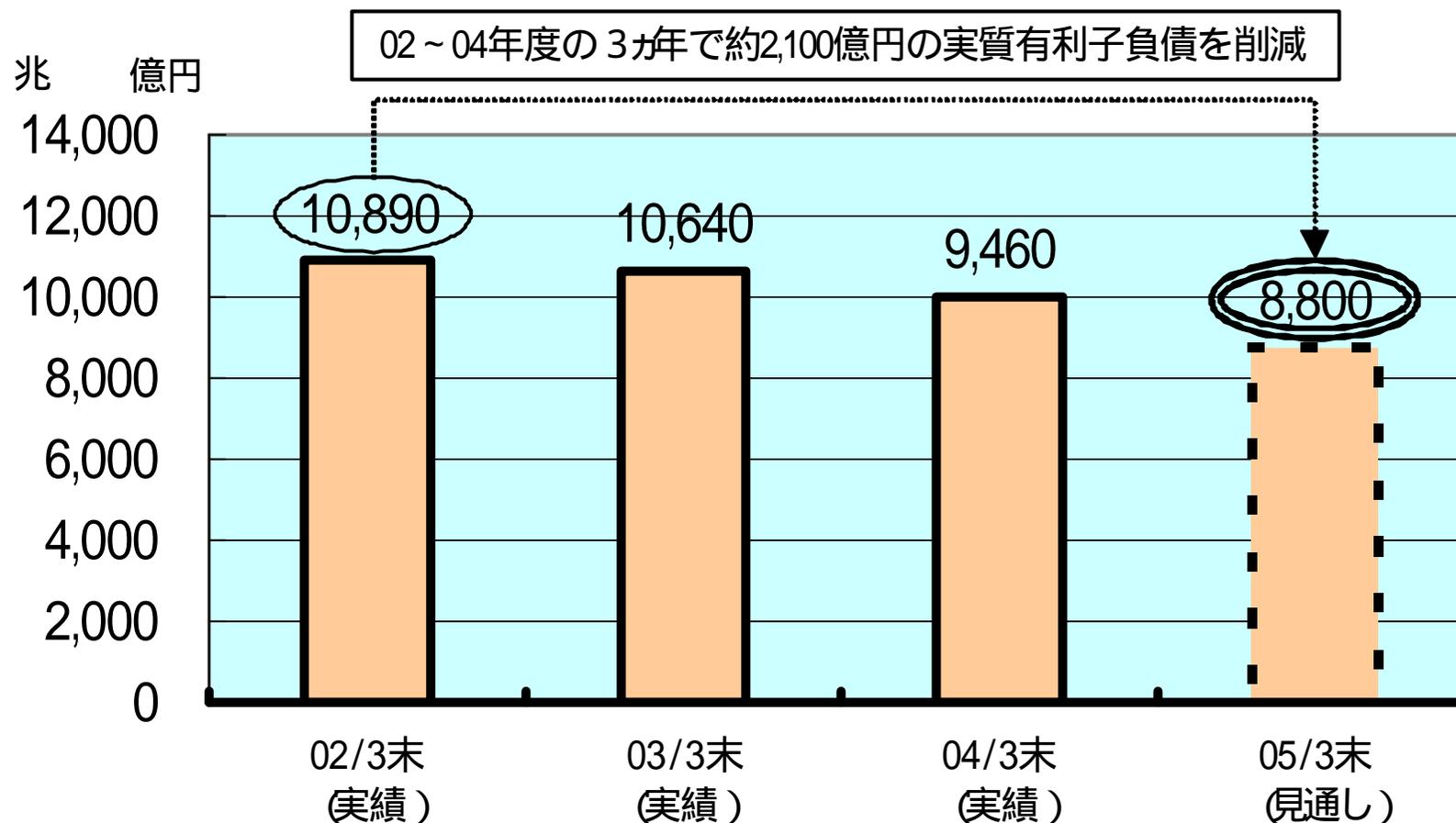
(5)設備投資の状況

選択と集中、成長性の確保 戦略分野に重点投資

02～04年度の設備投資額内訳 (出来高ベース)



(6)有利子負債の削減



(*) 海外金融子会社の両建運用にかかる負債を除く。

4. 個別施策の実施状況

(1) コア・ビジネス (石油事業) の収益力強化

上流部門 当初目標2005年/3月末 15万BD]

02/1~12月 (実績)	03/1~12月 (実績)	04/1~12月 (見通し)	05/3月末 (見通し)	05/6月頃 (見通し)
生産量 日量 5万バレル	7万バレル	12万バレル	13万バレル	⇒ 15万バレル (05/3末目標 時期ずれ)
北海ブレイ油田買収 ベトナム ランドン油田増産 米国メキシコ湾アコンカア・ ガス田生産開始	・マレーシア・ヘラン・ガス田 生産開始	・マレーシア・セライ、ジントン ガス田生産開始		・西豪州 ムティニア、 エクセター油田生産開始

中・下流部門

1. 精製設備の有効活用

ア. 出光興産との精製提携 (03年 4月)

イ. PP事業・PPS事業の拡大

ウ. 石油化学製品の増産 (プロピレン・パラキシレン)

2. 販売戦略

ア. 競争力のある製品提供 (環境対応商品)

・サルファーフリーのハイオクガソリン「ENEOSヴィーゴ」の全国展開
(03年 11月 ~)

・サルファーフリーのレギュラーガソリン 軽油の製油所出荷開始
(05年 1月 予定)

イ. 付加価値SS網 (フル・セルフ)の構築

DrDrive展開 (04年 3月末 : 1,871SS)

(2) 新たなエネルギー・ビジネスへの挑戦

電気事業

ア. IPP事業

・大阪 (08年7月～) 横浜 (00年6月～) 根岸 (03年6月～) 麻里布 (04年4月～)
各製油所において、IPP設備稼動中。

・室蘭製油所 IPP設備運転開始予定。(04年10月)

70万 kW体制確立 IPP事業者としては全国3位の規模

イ. PPS事業

・川崎天然ガス発電(1号機、2号機)

運転開始: 08年度予定、売電規模 80万 kW (40万 kW × 2基)

・フロンティアエネルギー新潟

運転開始: 05年7月予定、当社引取分: 3.5万 kW

(08年度には190万 kW体制へ)

IPP 70万 kW

PPS 100

NERS 20

風力 1

合計 190万 kW

ガス事業

- ・マレーシア LNG事業の商業生産開始（03年 11月～）

LNG事業における『一貫操業体制』の確立

燃料電池開発

- ・『LPG仕様 1kW家庭用燃料電池』のモニターテスト開始（03年 2月～）
05年度中、商品化見込み
- ・『灯油仕様 10kW業務用燃料電池』のフィールド実証試験開始（04年 3月～）
06年度中、商品化見込み
- ・『灯油仕様 1kW家庭用燃料電池』の実証試験開始（04年 4月～）
06年度中、商品化見込み

参考データ

燃料油内需・当社販売・販売シェア

(単位:%)

油種	燃料油内需 (03年度/前年比)	当社販売 (03年度/前年比)	販売シェア(消費ベース)		
			01年度	02年度	03年度
燃料油計	12	+0.1	20.7	21.9	22.2
(揮発油)	(+1.0)	(+1.4)	(22.8)	(23.2)	(23.3)
(灯油)	(5.2)	(5.3)	(23.0)	(23.6)	(23.5)
(軽油)	(3.5)	(3.9)	(21.7)	(22.4)	(22.3)
(A重油)	(1.3)	(+6.8)	(22.5)	(24.1)	(26.1)
(C重油)	(+2.2)	(+0.5)	(26.5)	(29.9)	(29.4)

出所:資源エネルギー庁

参考データ

セグメント別状況(売上高・営業利益)

(単位:億円)

部 門	売 上 高			営 業 利 益		
	02年度	03年度	04年度(見通し)	02年度	03年度	04年度(見通し)
石 油	35,996	36,064	35,100	729	337	975
┆(うち石油開発)	(458)	(616)	(566)	(151)	(236)	(193)
化 学	2,199	2,479	2,450	57	87	95
工 事	3,040	3,536	3,650	80	55	75
そ の 他 事 業	639	719	700	100	80	75
計	41,874	42,798	41,900	966	559	1,220

セグメント別状況(設備投資・減価償却費)

(単位:億円)

部 門	設 備 投 資			減 価 償 却 費		
	02年度	03年度	04年度(見通し)	02年度	03年度	04年度(見通し)
石 油	1,217	1,078	1,092	816	877	931
化 学	73	105	85	61	68	69
工 事	130	74	83	52	54	51
そ の 他 事 業	65	112	66	65	71	79
計	1,485	1,369	1,326	994	1,070	1,130

参考データ

油種別販売数量

	02年度(実績)	増減率	03年度(実績)	増減率	04年度(見通し)
	万KL	%	万KL	%	万KL
揮発油	1,389	+ 1.4	1,409	0.8	1,397
(ハイオク)	(279)	(1.2)	(276)	(+ 9.9)	(303)
(レギュラー)	(1,096)	(+ 2.0)	(1,118)	(3.5)	(1,080)
ナフサ	600	+ 0.8	605	+ 9.9	665
ジェット	121	+ 1.1	122	3.9	118
灯油	722	5.3	683	1.4	674
軽油	883	3.9	849	3.7	818
A重油	726	+ 6.8	775	+ 0.1	776
C重油	883	+ 0.5	887	30.9	613
(電力C重油)	(375)	(+ 13.8)	(426)	(61.6)	(164)
(一般C重油)	(508)	(9.3)	(461)	(2.5)	(449)
内需燃料油計	5,324	+ 0.1	5,330	5.0	5,061
原油	224	5.4	212	58.0	89
原油込内需計	5,548	0.1	5,542	7.1	5,150
ジョイントほか	2,835	+ 8.5	3,076	2.5	3,000
総計	8,383	+ 2.8	8,618	5.4	8,150

参考データ

SS数(固定式)

	<u>01/3末</u>	<u>増減</u>	<u>02/3末</u>	<u>増減</u>	<u>03/3末</u>	<u>増減</u>	<u>04/3末</u>
	カ所	カ所	カ所	カ所	カ所	カ所	カ所
合計	12,669	682	11,987	293	11,694	361	11,333
(うち社有)	(2,945)	(88)	(2,857)	(111)	(2,746)	(139)	(2,607)

セルフSS数

	<u>01/3末</u>	<u>増減</u>	<u>02/3末</u>	<u>増減</u>	<u>03/3末</u>	<u>増減</u>	<u>04/3末</u>
	カ所	カ所	カ所	カ所	カ所	カ所	カ所
当社	54	+ 88	142	+ 200	342	+ 178	520
(全国)	(422)	(+ 931)	(1,353)	(+ 1,169)	(2,522)	(+ 416)	(2,938)*

*元売系列のセルフSSのみ

出所:石油情報センター、燃料油脂新聞

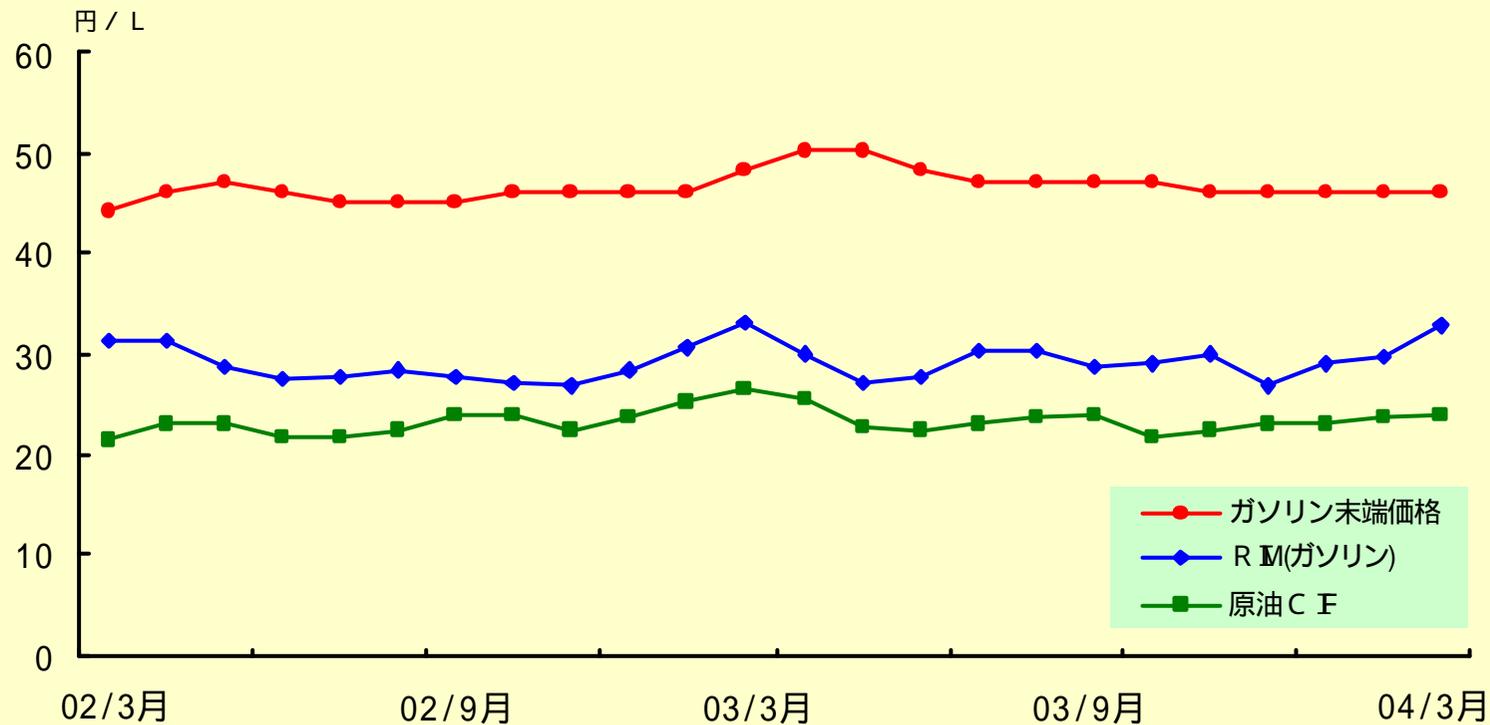
	<u>01/3末</u>	<u>増減</u>	<u>02/3末</u>	<u>増減</u>	<u>03/3末</u>	<u>増減</u>	<u>04/3末</u>
	カ所	カ所	カ所	カ所	カ所	カ所	カ所
<u>Drive数</u>	390	+ 893	1,283	+ 327	1,610	+ 261	1,871

参考データ

	01/4月1日	増減	02/4月1日	増減	03/4月1日	増減	04/4月1日
	カ所	カ所	カ所	カ所	カ所	カ所	カ所
<u>油槽所数</u>	75	13	62	7	55	4	51
<u>従業員数</u>							
	01/3末	増減	02/3末	増減	03/3末	増減	04/3末
	人	人	人	人	人	*2 人	人
グループ計	14,895	527	14,368	486	13,882	+465	14,347
(うち新日石・新精製)	(4,290)	(182)	(4,108)	*1 (+882)	(4,990)	(70)	(4,920)
	*1. 旧日石三菱精製、旧東北石油、旧興亜石油の合併(2002年4月)により 人員が増加している。						
	*2. 大日本土木の新規連結の影響により 人数が増加している。						
	02年度上期	02年度下期	02年度	03年度上期	03年度下期	03年度	
	%	%	%	%	%	%	
<u>トッパー稼働率</u>	77	91	84	79	88	83	

参考データ

ガソリン末端価格・R M(ガソリン)・原油C Fの推移



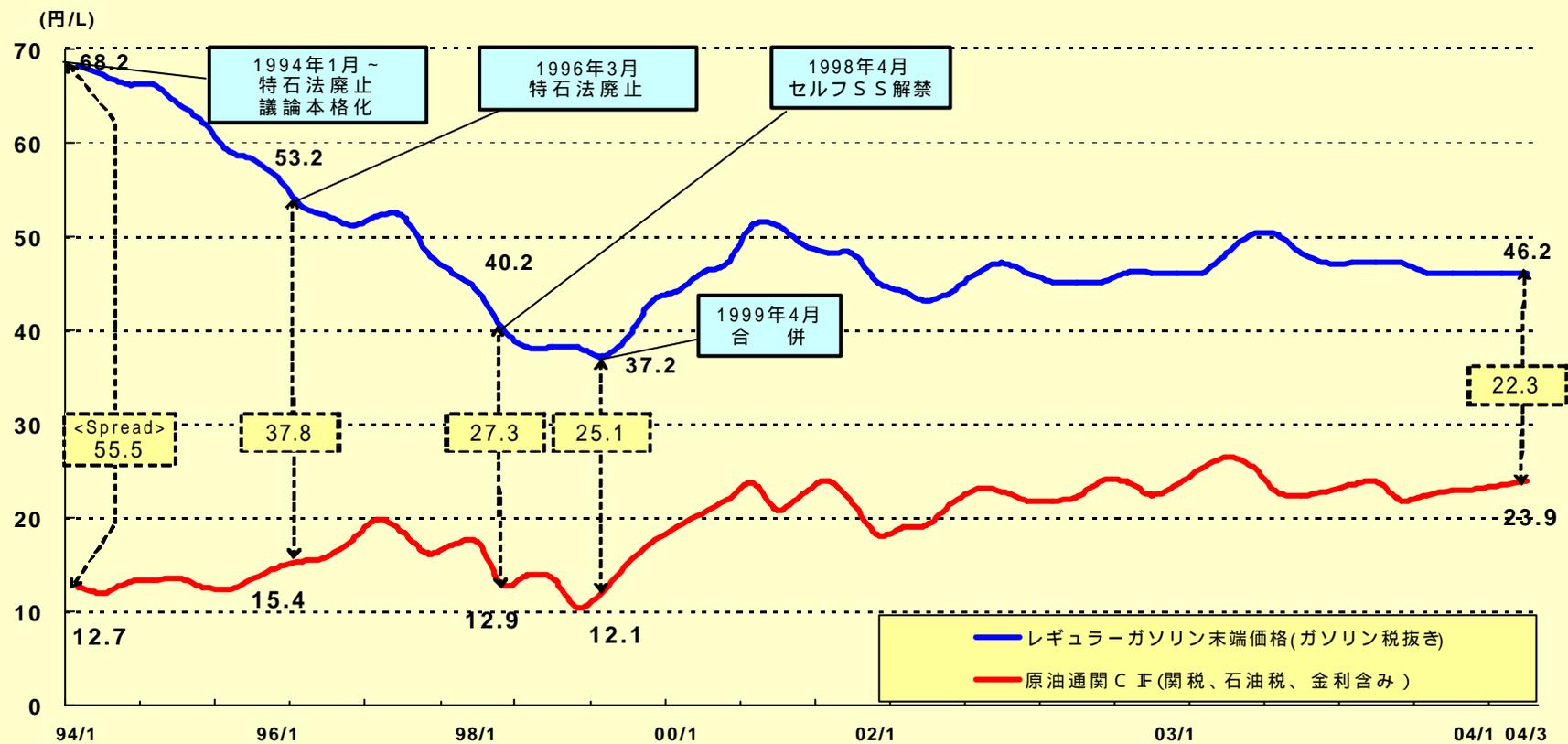
*ガソリンSS店頭価格:石油情報センター調査 (ガソリン税 53.8円 / L除き)

*R Mガソリン (ガソリン税 53.8円 / L除き)

*原油C F:通関統計ベース (関税・石油税・金利込み)

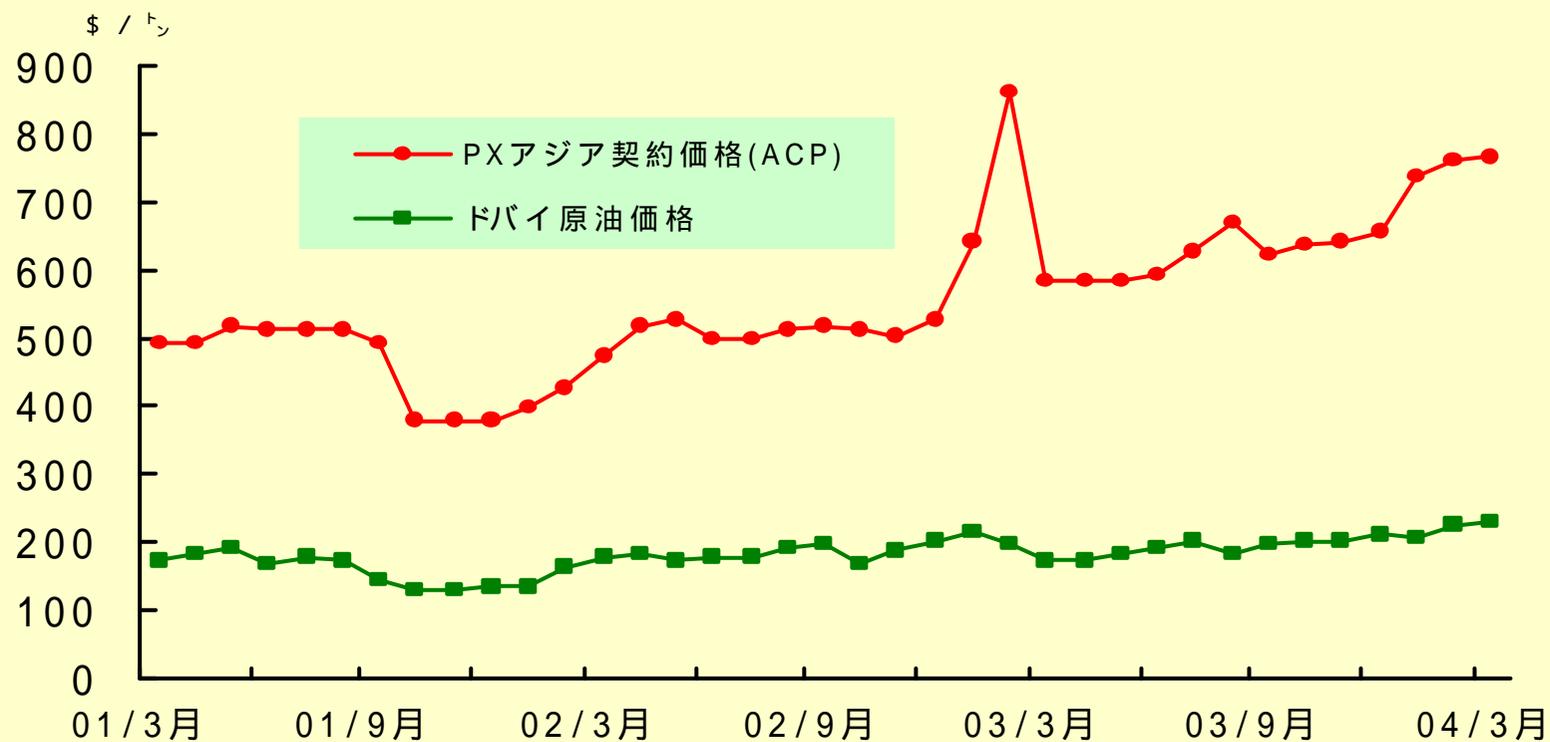
参考データ

ガソリン末端価格 - 原油CIFスプレッド



参考データ

パラキシレン(PX)価格、ドバイ原油価格の推移



< 見通しに関する注意事項 >

本資料に記載されている当社の業績見通し、経営目標等のうち、歴史的事実によらないものにつきましては、現時点で入手可能な情報に基づき、当社の経営陣が判断したものであります。

実際の業績等につきましては、さまざまな要素により、これらの業績見通し等と大きく異なる結果になりうることをご承知置き下さい。従いまして、業績見通し等に全面的に依拠して投資判断を下すことは、控えていただきますようお願いいたします。

なお、実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、原油価格、石油製品の需要動向および市況、為替レートならびに金利の動向が含まれますが、これらに限定されるものではありません。